



このQRコードはメーカー管理用です。

TOTO

ウォシュレット® 一体形便器 GGシリーズ 施工説明書

「ウォシュレット」はTOTO株式会社の登録商標です。

●施工の前には必ずこの説明書をよくお読みいただき、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。

必ず実施

従来にはない 設定が必要です。

便器洗浄ボタンを押すと自動で便器洗浄水量を設定します。

→裏面「**試運転**」**②**便器洗浄水量の設定」を参照

工事店様へ

試運転を実施してください。

確認① 自治体によって洗浄水量の規制がある場合

- 大洗浄4.8L、小洗浄3.6L(eco小洗浄3.4L)仕様を「大洗浄6L、小洗浄5L(eco小洗浄4L)」または「大洗浄8L、小洗浄6L(eco小洗浄5L)」に変更することができます。
- 裏面「**洗浄水量の切り替え**」参照
- 水たまり面が低下した場合の変更方法は、解除(もとの仕様に戻す)してから「**洗浄水量の切り替え**」の設定をしてください。
- また、**確認①**の設定をしている場合は、**確認②**の設定は不要です。

確認② 確認①で設定変更してない場合

大洗浄をしたあと、水たまり面の状態を確認してください。

※「自治体によって洗浄水量の規制がある場合」の設定をしている場合は、この設定は不要です。

正常な状態

設定変更は不要です。
(設定を行うと、洗浄不良になる場合があります。)



正常な水たまり面

この面まで水がたまっている

(水たまり面の判断に迷ったときは…)
ペットボトルやバケツなどで徐々に水をたし、水たまり面が上昇しない場合は正常です。
※水たまり面が低いと汚物付着の原因になります。排水管に曲がりが多かったり、通気が不十分だったりすると、水たまり面が低下する場合があります。

水たまり面が低い状態

設定変更を行ってください。
(洗浄水量を変えずに水たまり面を正常な状態にすることができます。)



水たまり面が低い

裏面「水たまり面が低下した場合の変更方法」をご確認ください。

同梱部品

※使用しない場合は、必ずお客様にお渡しください。 ※リモコンは機種によって異なります。

リモコン部品

※リモコンはいずれかが同梱されています。

リモコンハンガー (スティックリモコン)



リモコンハンガー



リモコン



「流すボタン」ラベル



リモコン盗難防止用部品 (取付説明書付)

※必ずお客様のご要望を聞いてから、作業してください。

手洗管組品 (手洗い付のみ)

手洗管



フック



止水栓 (フィルター付)



※必ず同梱の止水栓を取り付けてください。

ロータンクパッキン



取付ボルト組品

プラグ(4本)



固定ナット(4個)



印刷物



乾電池 (単3形×2本) ねじ (3本) アンカープラグ (3本)

施工手順

この施工手順に従って便器・ウォシュレットを正しく取り付けてください。

(○は便器、●は本紙の施工説明書を参照ください。)

取付方法

1 止水栓の取り付け

2 便器の取り付け

※便器の施工説明書を参照してください。

3 ウォシュレット本体の取り付け

電源プラグ・アクセス線の接続と確認

リモコンの取り付け

試運転

取り付け後の確認

安全に関するご注意

安全上の警告・注意事項を必ず守ってください。

絵表示の例 してはいけない「禁止」の内容です。 必ず実行していただく「強制」の内容です。

警告

死亡や重傷を負う可能性がある内容です。

- 浴室など湿気が多い場所には設置しない(火災や感電の原因になります。)
- 指定する電源(交流100V)以外では使用しない(火災や感電の原因になります。)
- 電源プラグやコードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいまま使用しない(火災や感電の原因になります。)
- 水道水および飲用可能な井戸水(地下水)以外では使用しない(皮膚の炎症などを起こす原因になります。)
- コンセントは給水位置の真下に設置しない(結露水などによりコンセントに水がかかり、火災や感電の原因になります。)
- 給水ホースは電源プラグ、コンセントに接触させない(結露水などによりコンセントに水がかかり、火災や感電の原因になります。)
- 車輻・船舶など、移動体への設置はしない(火災や感電、故障などの原因になります。)(便座・便ふたなどがはずれて落下し、けがをする原因になります。)
- 電源プラグは根元まで確実に差し込む(プラグを根元まで確実に差し込まないと火災や感電の原因になります。)
- アース(D種接地)を確実に取り付ける(アース工事を行わないと故障や漏電のとき、感電の原因になります。)

注意

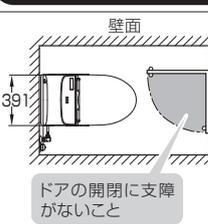
傷害や物的損害が発生する可能性がある内容です。

- 便座・便ふたを持って製品を持ち上げない(本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。)
- 給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない、カッターなどで傷つけない(水漏れの原因になります。)
- 止水栓を開けたままで給水フィルター、給水フィルター付水抜栓をはずさない(水が噴き出します。)
- 施工は施工説明書に従って確実にを行う(正しく取り付けないと水漏れ、感電、火災の原因になります。)
- 給水フィルター、給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは確実に締める(確実に締めないと水漏れの原因になります。)
- 電池の+表示をよく確かめて入れる(電池の液漏れ、発熱、破裂や発火の原因になります。)
- 長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出しておく(電池の液漏れの原因になります。)
- 固定ナット(4カ所)を確実に締める(固定ナットがしっかり締まっていないと、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。)

取り付け前のご注意

(単位: mm)

【床排水便器の場合】



壁面

ドアの開閉に支障がないこと

手洗い付 (便器先端760)

手洗いなし (便器先端719)

排水口

リモデル便器は264~499 ※500~540は便器を出して施工

リモデル便器は305~540

リモデル便器は804 (便器先端793) ※既設配管の場合

リモデル便器は920

リモデル便器は後抜き排水管:148 左右抜き排水管:155

排水高さの調整代は110~130

リモデル便器は264~499 ※500~540は便器を出して施工

リモデル便器は305~540

リモデル便器は804 (便器先端793) ※既設配管の場合

リモデル便器は804 (便器先端719)

リモデル便器は644

リモデル便器は後抜き排水管:148 左右抜き排水管:155

排水高さの調整代は110~130

1. 製品への通電および通水は取付作業をすべて終わってから行ってください。
2. 給水ホースの先端接続部にキズを付けないようにしてください。
3. ドアの開閉に支障がないことを確認してください。
4. 電源は交流100V(50/60Hz)です。右表の電力に適した配線をしているか確認してください。

定格消費電力		※()内はヒーター付便器の場合
乾燥なし	324W(349W)	
乾燥あり	413W(438W)	

5. 電源コードの長さはウォシュレット:約1.0m、ヒーター付便器:約1.1mです。コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
6. 給水圧力範囲は0.05MPa(流動時)~0.75MPa(静止時)です。この圧力範囲でご使用ください。給水圧が低いとタンクに水がたまる時間が長くなる場合があります。
7. 給水温度は0~35℃です。この温度範囲でご使用ください。
8. 同梱以外の止水栓を使わないでください。

※出荷前に通水検査をしていますので、製品内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

給水ホースの長さが足りない場合

給水ホース長さ違い一覧表		
給水ホース長さ(mm)	品番	希望小売価格
785	TCA249	¥2,450(税抜)

給水ホースの長さは約535mmです。もし給水ホースの長さが足りない場合は、●仕様・品番・希望小売価格などは予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

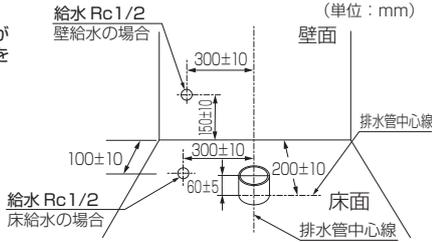
取付方法

1 止水栓の取り付け

① 給水金具と排水管の位置を決める
※給水口と排水口は、ゴミなどが入らないよう、ビニールなどをかぶせておいてください。

リモデルのときは…

便器の施工説明書の取付範囲を確認してください。



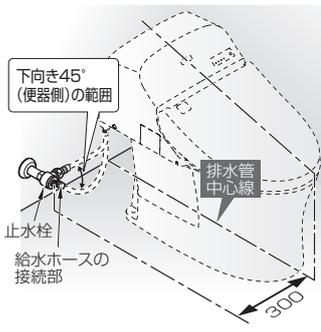
2 止水栓を取り付ける

注意
必ず同梱の止水栓（フィルター付）を取り付けてください。



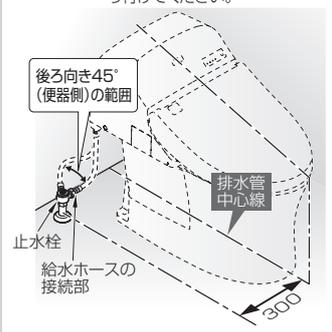
給水ホースがきちんとおさまるように下図の範囲で給水ホース接続部を折れ曲がらないように取り付けてください。

壁給水



床給水

※水抜き方式の場合は、給水ホースの水抜き勾配を確保できるように取り付けてください。

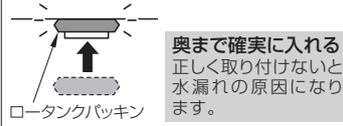


2 便器の取り付け

便器部の施工説明書に従い、便器を取り付ける

3 ウォシュレット本体の取り付け

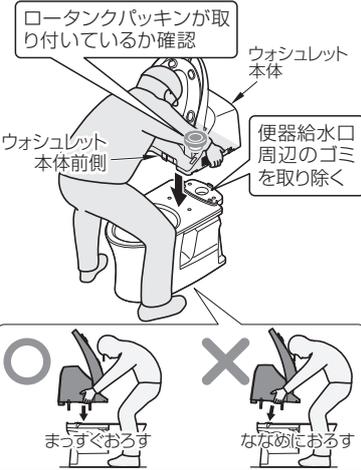
① ウォシュレット本体底面にロータンクパッキンを取り付ける



② ウォシュレット本体底面にプラグ（4本）を取り付ける

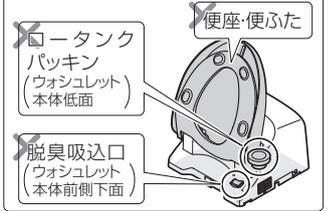


③ ウォシュレット本体を便器に取り付ける



注意

- パッキンおよび給水口周辺のゴミは必ず取り除いてください。ゴミを取り除けなかったり、ウォシュレット本体をななめにおろすとパッキンがめくれたり、漏水の原因になります。
- ウォシュレット本体を持ち上げるときは、下図の場所を持たないでください。下図の場所を持つと、便ぶたがはずれたり、製品が破損する原因になります。



取付方法

3 ウォシュレット本体の取り付け（つづき）

④ 固定ナット（4カ所）でウォシュレット本体を固定する
※後側2カ所を先に固定してください。その後、便座の位置を合わせて前側2カ所を固定してください。

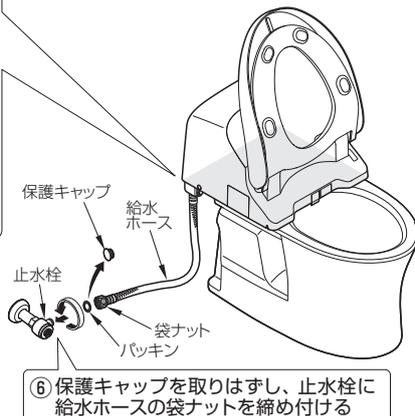
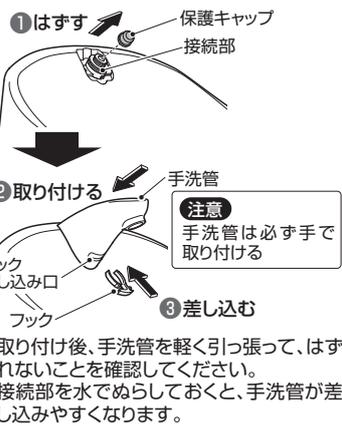
注意
固定ナットを締め付けるときは必ず手で行ってください。工具を使用すると破損の原因になります。

●固定ナットを手締めで回らなくなるまでかたく締め付ける



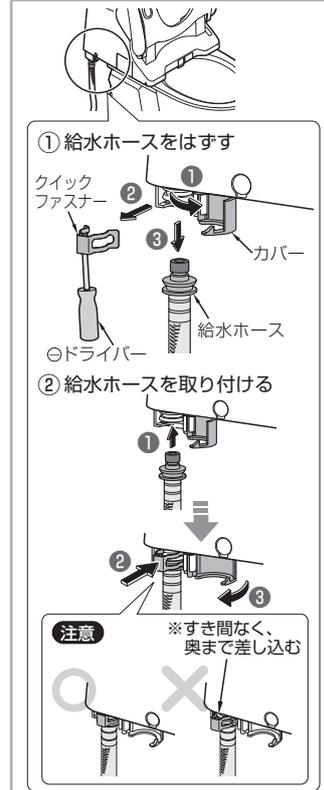
確認!
※1 再度、確実に締まっていることを確認してください。
※2 ウォシュレット本体のガタつきがないことを確認してください。

⑤ 手洗い用の手洗管を取り付ける（手洗い付のみ）



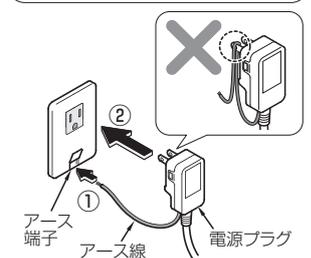
リモデル現場などで、止水栓の位置が異なる場合は製品に取り付けている給水ホースでは長さが合わないことがあります。別途、給水ホースをご購入ください。（表紙「給水ホースの長さが足りない場合」参照）

長さ違いの給水ホースを取り付ける場合

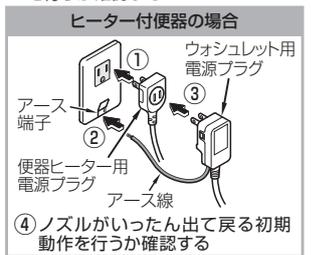


電源プラグ（アース線）の接続と確認

お願い ノズル伸出口に貼ってあるテープをはがしてください。



③ ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認する



④ ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認する

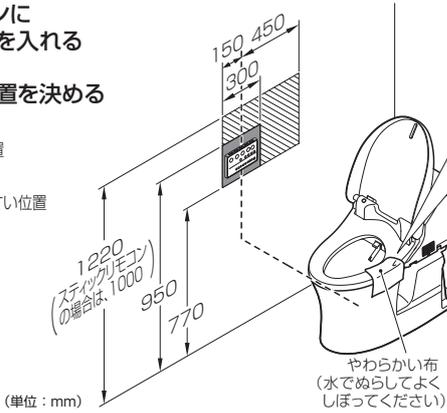


リモコンの取り付け

1 リモコンに乾電池を入れる

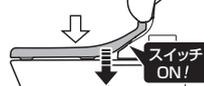
2 取付位置を決める

- 取付位置の目安
- 使いやすい位置の目安



【作動の確認】

① 便座の右側を手で押し、着座スイッチを入れる



② 「おしり」スイッチを押してノズルが伸出することを確認する

③ 「止」を押す

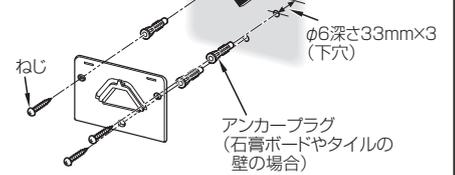
④ 動作しない場合
→ リモコンの位置を変えるか、反対側の壁で確認

※下記の場合、リモコンの受信性能が変わり、ウォシュレット本体が作動しないことがあります。

- 室内の広さ、壁、材質などの条件が合わないとき
- 黒っぽい天井や壁のとき
- インバーター方式の照明下のとき

3 リモコンハンガーの取り付け

① リモコンハンガーを壁に取り付ける



② セットする

試運転 (各項目を確認後、□に✓してください)

● 試運転の前および試運転完了時は必ず電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。
(ウォシュレット本体表示部の「運転」ランプが点灯します。)

1 ウォシュレット本体の確認

□ 水漏れチェック



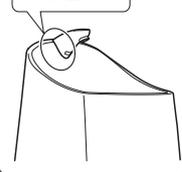
- ※ 付属の開閉工具を使用してください。作業が完了したら、必ずお客様にお渡ししてください。
- ※ タンク給水中「ヒュー」という音がする場合は、給水圧が高くなっていますので、音が鳴らなくなるまで止水栓を少し右へ回してください。
- ※ 万一、水漏れがあれば再施工を行い、水漏れを止めてください。

□ 水漏れチェック



【手洗い付の場合】

□ 水漏れチェック



□ 運転ランプが点滅していませんか
→ 凍結防止モードが「入」に設定されています。
※ 仕様をご説明のうえ、お客様が希望された場合のみ設定を行ってください。

● 凍結モードを「入」にすると、次のように作動します。

運転ランプが点滅：緑色



約5分間隔で便器洗浄

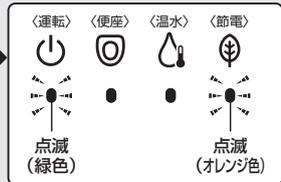
2 便器洗浄水量の設定

■ 本製品は、最初の便器洗浄時に自動で使用環境の水圧条件を計測し、便器洗浄水量を設定します。

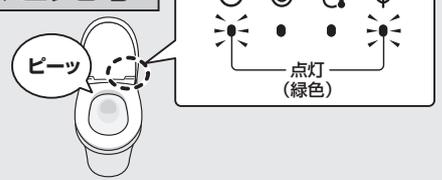
大 を押す

→ 設定開始

〈便器洗浄水量設定中の表示〉



設定完了



設定中は...

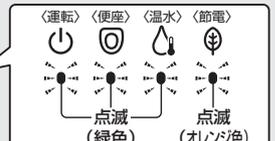
- お風呂やキッチンなどの水を使用しない (お客様にもお伝えください。)
- すべてのボタンを押さない
- 止水栓を開閉しない

正しく洗浄水量の設定ができない原因になります。

次のような場合は、正しく設定できておりません。(一定時間で通常の表示に戻ります。)

- ・ 製品からの電子音「ピーッ、ピーッ」
- ・ 本体表示部点滅

ピーッ
ピーッ



一度設定を解除してから、もう一度、設定しなおしてください。解除方法は下記をご確認ください。

設定解除方法

シンプルリモコンの場合

- ① 止 を10秒以上押す
● リモコンのランプが全点滅します。
- ② 大 と 小 を同時に押す
● 「ピッ」という電子音が鳴ります。
- ③ 止 を押す → ④ 大 を押す

スティックリモコンの場合

- リモコン裏面のボタンで操作します。
- ① を10秒以上押す
● 「施工者モード」画面が表示されます。
 - ② で「便器圧損学習リセット」を選び を押す
● 「ピッ」という電子音が鳴ります。
 - ③ を押す → ④ 大 を押す

自動で3回または6回連続で便器洗浄し、完了するまで最大約5分かかります。

試運転 (各項目を確認後、□に✓してください)

3 機能の確認

- 便器洗浄時にウォシュレット本体底面から水漏れなどの異常がないかを確認しましたか
- 自治体による洗浄水量の規制に合った水量設定を行いましたか

□ 水たまり面が低下していませんか
大洗浄をしたあと、水たまり面の状態を確認してください。
※「自治体によって洗浄水量の規制がある場合」の設定をしている場合は、この設定は不要です。

設定変更は不要です。
正常な水たまり面

設定変更を行ってください。
水たまり面が低い
設定変更のしかた
下記「水たまり面が低下した場合の変更方法」をご確認ください。

この面まで水がたまっていない

- ノズルから温水が出ますか
(温水タンクが空のときは、吐水するまで約1分、温水になるまで約10分かかります。)

① 着座スイッチ「入」
(手などで押さえる)
便座に座るとスイッチ ON!

③ 紙コップ
やわらかい布
(水でぬらしてよくしぼってください。)

シンプルリモコン
④ ②

スティックリモコン
④ ②

- リモコンで便ふたがきちんと開きますか
(オートふた開閉機能付きのみ)
※3回続けて開いた位置を記憶します。

便ふたが途中で止まるようになった場合

- ① 障害物を取り除く
- ② 電源プラグをはずし、5秒後に差し込む
- ③ リモコンの「便ふた開閉ボタン」を押す

詳しくは、
表紙「工事店様へ」参照

洗浄水量の切り替え

洗浄水量の切り替え 自治体によって洗浄水量の規制がある場合

●自治体によって洗浄水量の規制がある場合、大洗浄4.8L、小洗浄3.6L、(eco)小洗浄3.4L仕様を下記水量に変更することができます。
※リモコンで設定を行ってください。

大洗浄6L、小洗浄5L (eco)小洗浄4L仕様への切り替え方法

シンプルリモコンの場合

① 止 10秒以上押す
●リモコンのランプが全点滅します。

水勢

② + と 水を同時に押す
●「ピッ」という電子音が鳴ります。

③ 止 を押す
(元の仕様に戻す場合は同じ操作を行い、②で「ピッ」という電子音が鳴れば設定完了です。)
※変更した場合、便器洗浄してから約1分後に便器水たまり面の高さを戻すために水を補給します。

スティックリモコンの場合

リモコン裏面のボタンで操作します。

① 10秒以上押す
●「施工者モード」画面が表示されます。

② 「便器洗浄水量切替」を選び を押す

③ 「便器洗浄水量切替②」を選び を押す
●「ピッ」という電子音が鳴ります。

④ を押す
(元の仕様に戻す場合は同じ操作を行い、③で「ピッ」という電子音が鳴れば設定完了です。)

大洗浄8L、小洗浄6L (eco)小洗浄5L仕様への切り替え方法

シンプルリモコンの場合

① 止 10秒以上押す
●リモコンのランプが全点滅します。

ノズルそじ

② 入閉 と 水を同時に押す
●「ピッ」という電子音が鳴ります。

③ 止 を押す
(元の仕様に戻す場合は同じ操作を行い、②で「ピッ」という電子音が鳴れば設定完了です。)
※変更した場合、便器洗浄してから約1分後に便器水たまり面の高さを戻すために水を補給します。

スティックリモコンの場合

リモコン裏面のボタンで操作します。

① 10秒以上押す
●「施工者モード」画面が表示されます。

② 「便器洗浄水量切替」を選び を押す

③ 「便器洗浄水量切替③」を選び を押す
●「ピッ」という電子音が鳴ります。

④ を押す
(元の仕様に戻す場合は同じ操作を行い、③で「ピッ」という電子音が鳴れば設定完了です。)

水たまり面が低下した場合の変更方法

●大洗浄4.8L、小洗浄3.6L、(eco)小洗浄3.4Lの洗浄水量は変わりません。
※リモコンで設定を行ってください。

シンプルリモコンの場合

① 止 10秒以上押す
●リモコンのランプが全点滅します。

水勢

② - と 水を同時に押す
●「ピッ」という電子音が鳴ります。

③ 止 を押す
(元の仕様に戻す場合は同じ操作を行い、②で「ピッ」という電子音が鳴れば設定完了です。)
※変更した場合、便器洗浄してから約1分後に便器水たまり面の高さを戻すために水を補給します。

スティックリモコンの場合

リモコン裏面のボタンで操作します。

① 10秒以上押す
●「施工者モード」画面が表示されます。

② 「便器洗浄水量切替」を選び を押す

③ 「便器洗浄水量切替①」を選び を押す
●「ピッ」という電子音が鳴ります。

④ を押す
(元の仕様に戻す場合は同じ操作を行い、③で「ピッ」という電子音が鳴れば設定完了です。)

給水フィルターの掃除 (試運転後)

【便器側】

① 電源プラグを抜く

② (ノズルを伸出させる) ※給水管内の圧抜きです。
シンプルリモコンの場合 ノズルそじ 入閉
スティックリモコンの場合 リモコン裏面のボタンで操作します。
① MENU/RETURN を押す
② 「お手入れ」を選び を押す
③ 「ノズルそじ開始/停止」を選び を押す

③ 歯ブラシなど
給水フィルターを掃除する

④ 水漏れチェック
全開

【ウォシュレット側】

① カバーを剥がす

② (ノズルを伸出させる) ※給水管内の圧抜きです。
シンプルリモコンの場合 ノズルそじ 入閉
スティックリモコンの場合 リモコン裏面のボタンで操作します。
① MENU/RETURN を押す
② 「お手入れ」を選び を押す
③ 「ノズルそじ開始/停止」を選び を押す

② 水漏れチェック
全開

⑤ 水抜きプラグ、カバーを取り付ける

製品引き渡しまでの期間が長い場合 ※必ず水抜きをしてください。(故障の原因)

① 流動方式のとき 止水栓を閉める
■ヒーター付き便器・水抜き併用方式のとき 水抜きプラグを操作して、給水を止める
●お願い 止水栓は開けたままにしておいてください。

② タンクの水を抜く
リモコンの「大洗浄」スイッチを押す

③ 配管の水を抜く
【給水フィルターの掃除 (試運転後)】
【ウォシュレット側】①の②③④⑤⑦項参照
※電源プラグは抜いたままにしておいてください。

④ 水抜きプラグをはずす
(給水フィルター付水抜き栓)
水抜きプラグを左にまわす
ドライバー、そうきんなど
●ノズル付近から水が便器内に出ます。水が完全に抜けるまで約90秒かかります。

⑤ 水抜きプラグ、カバーを取り付ける
水が出なくなるまで待つ
右にまわす
カバー

●凍結のおそれがあるときは
・便器のたまり水に不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。
(不凍液はそのまま流さず、使用前に回収し、廃棄処分するようにお客様にお伝えください。)

工事店様へ

- 使用しない乾電池は、工事完了後お客様にお渡しいただきます。
- ウォシュレットの機能、使いかたについてお客様に説明してください。新築などでお客様に引き渡すまでに時間があるときは、電源プラグを抜いてください。
- 取扱説明書の保証書に必要事項を記入のうえ、お客様にお渡しください。